

川崎重工業株式会社

NO.2017060

2017年12月26日

各 位

会社名	川崎重工業株式会社
代表者名	取締役社長 金花 芳則
コード番号	7012 東京① 名古屋①
問合せ先	経理部長 浅野 肇
	【東京】TEL 03-3435-2130
	【神戸】TEL 078-371-9531

平成30年3月期通期連結業績予想の修正について

川崎重工は、平成29年10月27日に公表した平成30年3月期通期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の連結業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期連結業績予想の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成29年10月27日発表)	百万円 1,590,000	百万円 62,000	百万円 55,500	百万円 38,000	円 銭 227.47
今回修正予想(B)	1,590,000	62,000	55,500	35,000	209.51
増減額(B-A)	0	0	0	△3,000	—
増減率(%)	0.0%	0.0%	0.0%	△7.9%	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	1,518,830	45,960	36,671	26,204	15.68

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮して算定しております。

2. 修正の理由

本日公表の「オフショア作業船の造船契約の合意解除に伴う特別損失の計上について」のとおり、特別損失として約130億円を計上する見込みとなり、そのうち親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響額は約95億円となる見通しです。一方、ブラジルでの造船合併事業に係る損失(2016年度までに損失処理済み)が当第3四半期に確定したことによる繰延税金資産の計上及び法人税等の減少を合わせて約65億円と見込んでいることなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回(10月27日)公表値から30億円減益の350億円となる見通しです。なお、本業績見通しは、オフショア作業船の合意解除及びブラジル造船事業の損失確定に伴う税金費用変動の影響を前回公表予想に反映した数値です。

3. その他

本業績見通しの修正に伴う年間配当予想額(平成29年10月27日公表)の変更は予定しておりません。

以 上